

第4節

利便性が高く快適な生活を支える骨格づくり

(1) 鉄道網整備促進プロジェクト

新しい圏域の発展を支える鉄道網の整備促進

プロジェクトの目的

- 地下鉄12号線の延伸促進を図る。

プロジェクトの内容

- 4市圏南西部に整備が期待されている地下鉄12号線の延伸について、埼玉県、東京都及び周辺自治体等と連携しながら整備促進を図る。
- JR武蔵野線、東武東上線、東京メトロ有楽町線など既存路線については本数の増便や輸送力の増強、駅施設等のバリアフリー化などを関係機関等に要請する。

スケジュール 後期（平成18年度～平成27年度）

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
← 周辺自治体との連携促進 →									
← 国・埼玉県・東京都・関係機関等との協議・整備促進 →									

役割

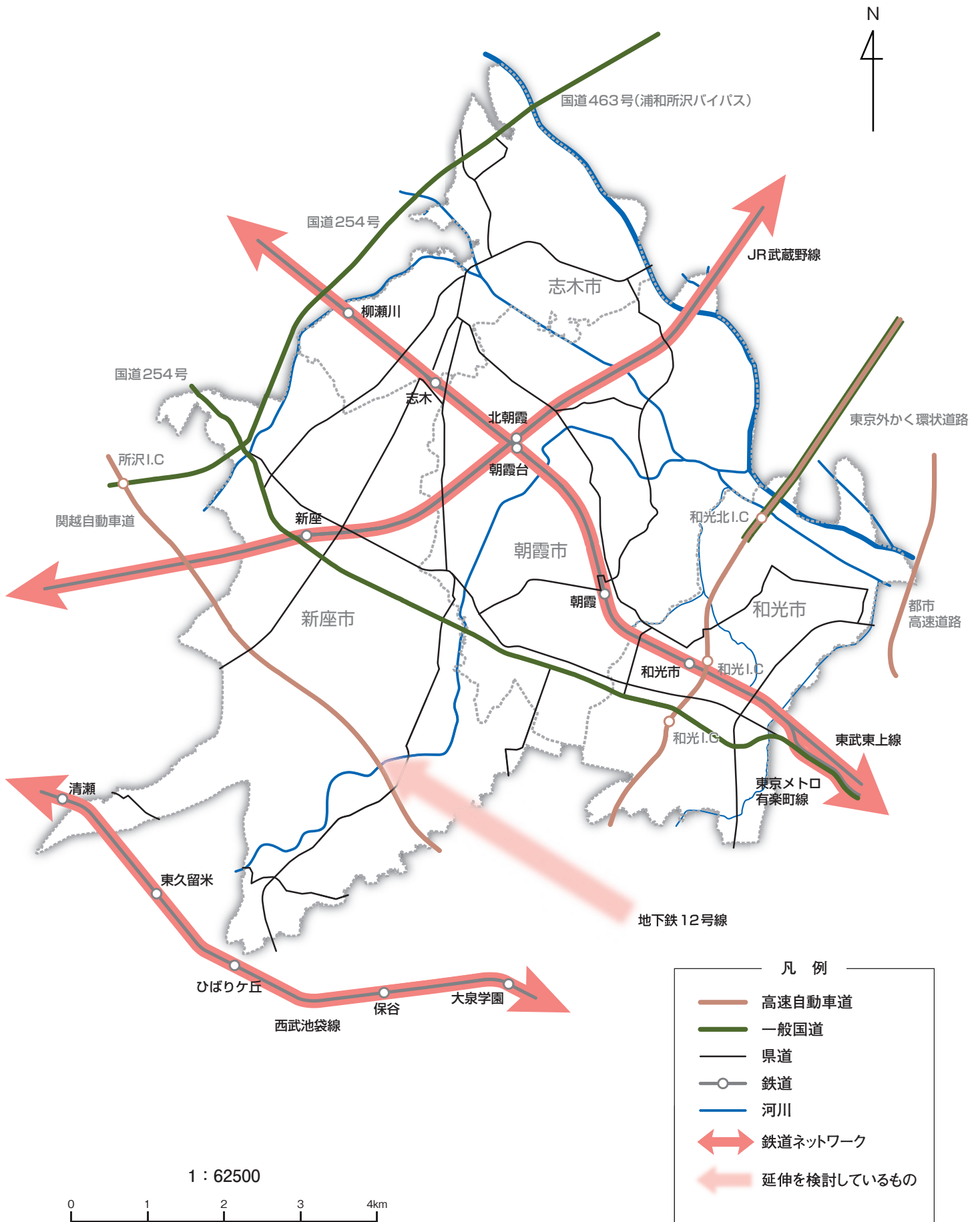
(協議会)

- 周辺自治体との連携
- 国・埼玉県・東京都・関係機関等への整備促進の要請

(各市)

- 周辺自治体との連携
- 国・埼玉県・東京都・関係機関等への整備促進の要請

図 鉄道網ネットワーク



(2) 道路網整備促進プロジェクト

4市圏内外交流を活性化する都市計画道路の整備

プロジェクトの目的

- 都市計画道路の整備促進を図り、4市圏内外の人・物の円滑な流動を促進し、効率的な都市活動を実現する。
- 4市圏の拠点となる各市の中心市街地間の円滑な連絡を図る。
- 関越自動車道、東京外かく環状道路、国道254号、同バイパス等広域幹線道路とのアクセス性の向上を促進する。

プロジェクトの内容

- 4市圏内の骨格となる道路網の整備を促進する。
- 都市計画道路の整備を促進する。
- 周辺自治体との連携、国・県との調整を図り、道路網の整備を促進するとともに、適宜優先順位・重要性の検討を行う。
- 4市圏住民への道路整備、土地利用の理解と協力を得るための啓発活動を行う。

(主な都市計画道路)

- 志木和光線（志木朝霞線）
- 黒目川通線
- 岡通線
- 保谷朝霞線
- 宮本清水線
- 東朝霞線
- 東村山志木線（東村山足立線）

スケジュール 後期（平成18年度～平成27年度）

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
各事業計画の計画的な推進									
各種啓発活動									

役割

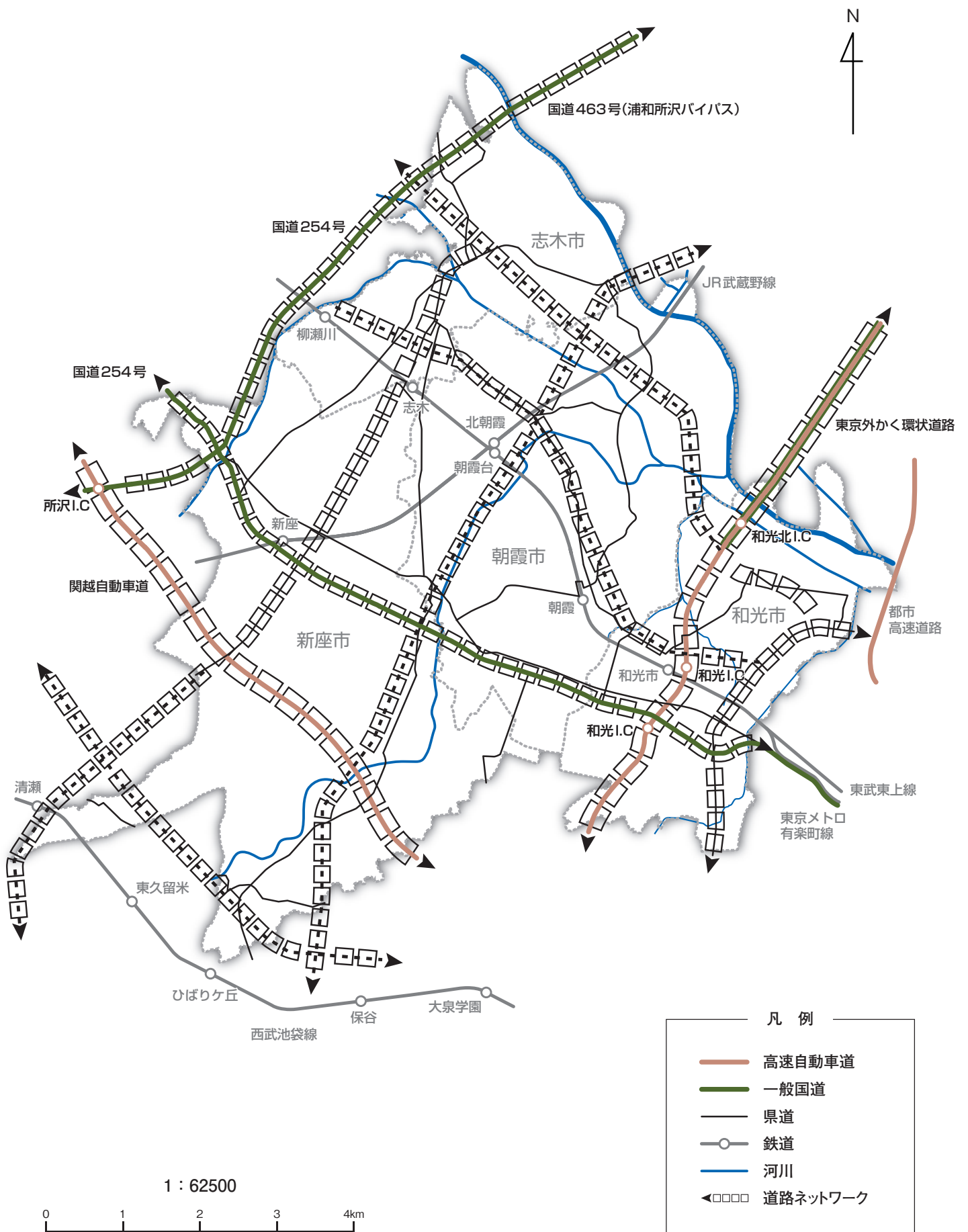
(協議会)

- 既存路線の現況の把握と4市圏内の相互調整
- 国・県等との協議と整備促進の要請
- 周辺自治体との連携

(各市)

- 国・県等との協議と整備促進の要請
- 周辺自治体との連携
- 市民への啓発活動の推進

図 骨格的道路網ネットワーク



(3) 生活密着型交通システム整備促進プロジェクト

4市圏の住民生活に密着した公共交通体系の整備促進

プロジェクトの目的

- 4市圏の住民生活の利便性を高めるバス路線網の充実を図り、交流機会の拡大や各種公共施設等の利用拡大を図る。

プロジェクトの内容

- 公共交通機関であるバス路線について、バス事業者に対して路線網の充実、利用しやすい環境整備等を要望する。
- 4市圏内の循環バス等を活用しながら圏域全体のネットワーク化を検討する。

スケジュール 後期（平成18年度～平成27年度）

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
4市圏内のバス路線充実の要請									
4市圏内の循環バスネットワーク化の検討									

役 割

(協議会)

- 関係機関との連携、整備促進の要請
- 4市圏内のバスネットワーク化の検討

(各市)

- 関係機関との連携、整備促進の要請